京城新報

陸暦 十一月八日

發行所 京城新報社　電話六六三

紐育恐慌の由來(續)

歐洲市場に於ける影響

此の大恐慌が歐洲各市場に及ぼしたる影響は實に激烈なるものである英國銀行の如きは十一月一日より七日に至るまでの間に其歩合利子を四分五厘より七分に引き上げ佛蘭西中央銀行は三分五厘の公定利子を特に破格的に四分に引上げ獨逸帝國銀行も亦英の例に倣うて七分としたではないか此樣なことは先づ普佛戰爭の後、即ち一八七三年に於ける金利暴騰以來、全く類例のないことである、これは單に金利の事であるが其他社會上の景氣を不良ならしむる點も亦中々に重大なるものであらう。

日本に於ける影響

しかしこれは決して對岸の火災視すべきものではなく我國に於ける影響も少くない我國は元來、米國とは貿易上至大の關係がある若し此の恐慌が長く續いたならば輸出入上に一大頓挫を招くは必然である現に生絲の如きは一時注文を取消されたるものもあるので價格の暴落を來たした其の他日本銀行が爲替の取組みを中止したのも一の影響と見るべきである、

此際我國から正貨の流出して金利が騰貴せぬであらうかと憂ふるものがあれど、我國は目下海外に巨額の正貨を有するのであるから其の流出防禦の如きは必ずしも左程心配せずもよからう結局我國も多少苦い影響を受けつゝある譯だ、

國庫の金を各銀行に預け入れし事

米國に於ける救濟手段は第一に國庫の金を各銀行に預け入れた事である其金額は九千万弗であると云ふ事が新聞紙上に見ねたが實際は何程であるか知れないが餘程の多額の國庫金を銀行に預け入れたと云ふ事丈は明白である其次に執つた手段は手形交換所に預る證券を出した此等に就ても此頃の新聞紙に不正確な事が出て居つたが手形交換所に預るときには手形交換所の組合が委員を選んで其委員の見込に依つて或る一の銀行から其委員が最も確かだと思ふ所の有價證券を預け入れさせて其七割五分までの金高を預り證として渡すのである左樣すると其預り證と云ふ者は手形交換所の決濟に用ゆる事が出來る其點に於ては何處の決濟の爲めにも用ふる事になる其れが之に對する極く最初に採られた救濟法とでもなかつたらうが多少金の不足を補助する手段として行はれた、

紙幣の增發

次に國立銀行の紙幣を增發した其れは如何なる方法に依つて行つたかは知らぬが國立銀行の紙幣と云ふものは政府の公債を擔保として發行するのであるが亞米利加は今日迄公債が少いから日本の樣に公債が大變賣れて居れば公債を擔保にして發行する事が出來るが左も無ければ到底不可能である然らば發行の際は其れが爲め如何なる途を付けたかと云ふに有價證券を擔保にして臨機の融通を付けたものか今日擔保たる公債の額面にしてやつたのか時價發行にしてやつたのか現に角左樣な事をして國立銀行の紙幣を增發したのである此等の手段は單に通貨の不足を補ふに過ぎぬ亞米利加の通貨缺乏の時は通貨を伸縮する事は一切出來ない日本銀行の樣に保證準備を發行するとか云ふ事は出來ないのである通貨が入用の時は何處からか持つて來るより仕方がない國庫金を預る其から有價證券を預ると云ふ樣の姑息手段で國立銀行が紙幣の增發をした此は先づ如何にかして其丈けの通貨を伸したものであるが併し如斯手段では到底納まりの付く事では無いから歐羅巴、濠洲、南米等から金貨を吸收する方法を取つて其れにて有價證券を動かすと云ふ事が一つ其から恰も好し穀物の輸出期に當つて居るから其代金を精々取り上げて之を回收する今一つは此は想像的になるが矢張融通手形を出しても使用が出來んから紐育で社債を發行して巴里に賣出するなど云ふ事があつた今は如何なつたか知れないが兎も角如何なる方法を用ひたか無慮六千萬弗の金貨を外國から吸收した事があつた此れ等が通貨を膨脹し若しくは吸收する方法であつたが其では又危險だと思つたのでもあらう如斯な方法も取らなかつた、

紐育同盟銀行の申し合せ

今は紐育での同盟銀行が申し合はせて預金の引き出しには手形交換所を經由して現金を要求すれば預金を拂ふが併し二千弗巳上は拂はないと云ふ申し合せをしたのであるがドシ／＼と來れば決して支拂ぬと定まつて居る左樣云ふ形勢を生ずる前に申し合はせて金貨を拂はない樣の手段である例へば甲は三井銀行に當座預金を有つて居つて乙は三菱銀行に當座を有つて居るとすれば乙は甲に仕拂ふ可き義務ある時は三菱銀行の小切手を甲に仕拂ひ渡す樣に書く左樣して甲は之を受取に行つても三菱銀行は現金にては仕拂はないで三井銀行に於ける甲の當座を殖やすか又甲は他に仕拂の必要ある時には三菱銀行の當座から前の方法で拂ふ又其次は安田銀行第百と逐に又元の三菱銀行に戻るかも知れない平生は人が資產にして居るのであるが如斯際では唯だ信用丈けでは諸人が安心しない時なれば、これ等を防ぐ方法としては非常なる際であるから皆一時的蓋を覆ぶせる樣の手段を取つて居る中にも或る方面では銀行は無論平常は普通の營業を爲て居るが預金引き出しの大きな者が來れば今日は休日だから拂ひませんと云つて仕舞ふ此等は銀行が法律上何等の根據を有して居るか知れぬが兎に角休日とすれば致方がない實に酷い手段である

北老爺嶺(山脈)大森林及雪中縱斷記(五)

黑衣仙

大半は鹹爾滑混林で、林齡は凡そ五十年以上二百年以下、黃花松、紅松、杉松等の鄕土で虎、熊、豬、黑貂、栗鼠、麋の巢窟、山人蔘も出來れば腐枯も穫れる、そこで木を仆し、蹊を開いて、猛獸の害を避け、食う丈の粟や玉蜀黍や蘿蔔を作り、木小屋を結んで、伐木にも出掛やうし、遊獵にも出掛やうし、暇があれば人蔘を搜し、腐枯を採つて、かくて自由にして且不和なる生涯を送る森林住者の境遇を想像し見よ、世にこの位ゐ單純なる生活が又と有らうか。

此日の行程は凡そ五十淸里。

雪は深夜に至りて霽れ、明くれば二日午前九時、沈家燒鍋を出發して陽岔河の氷上を步く、跋木條子溝を過ぐれば自然と爪先上りに高くなつて、名も平崗と云う平たく小高き山の中腹に出る、此所も亦一軒屋で宿の主人は丁輝淸、老人夫婦に小供と外に老体の重病人が一個、一行が泊り込めば寢る處もないので、一家內は病人を殘して急に一里ばかり手前の一軒屋に移轉と云う騷動可哀想でも仕方がない、此所で泊らねば樣江大甸子迄は是非共行かなければならぬ、行程僅に三十淸里、着いたのが午後三時、尙行けば夜になる、泊る所はない、可哀想でも此處に腰を下して又も雪で炊いた飯を食ら、眠る。(つゞく)

滿洲の大豆(上)

滿洲に於ける大豆は高黍と同じく最も重要なる農產物にして、輸出貿易品中の太宗たり、凡そ東三省の中東西南北到る處の村落之れが耕作をなさゞるなく、何れの都市と雖も之れが商的取引をなさゞるなし

滿洲大豆の種類を三ツに大別す、黃豆、靑豆、黑豆等なり、黃豆の中に白眉、金黃、黑臍の三種あり、靑豆を分ちて二とす、一を黃綠とし他を靑綠と云ふ、黑豆も又三種に區別するを得、一を大黑豆、二を小黑豆、三を扁黑豆と稱す、各種大豆中にありては黃豆を最も上等とし、他類に比して脂肪を多量に含有するを以てなり、就中白眉及び金黃を以て優物とし豆腐及び豆芽(モヤシ)等を製するに用ゆ、靑豆は稍々品質に於て黃豆より劣る、黑豆中大黑豆は高粱玉蜀黍等と混煮して食膳に上す、小黑及び扁黑豆は漬物とし或は飼料となす

產地は滿洲全體に亘りて耕作さるゝを以て殆んど特記するの要なしと雖も、試みに其主要集散地に於ける集散の大概を擧ぐれば

通江子	七十萬石	遼陽	十五萬石
鐵嶺	五十萬石	田庄臺	三萬石
奉天	四十萬石	營口附近	三萬石
開原	二十五萬石	大通子房	五萬石
新民屯	二十萬石	蓋州	二萬石
牛莊城	二十石		

而して輸出の爲め每年營口に來るものは總石數約二百三四十萬石なりと云ふ

大豆下種の時季は大抵四月上旬より下旬に至る迄即ち淸明穀雨の節前後に於て行はる播種後一週日位にして發芽す其成長して三四寸に及ぶの頃に至りて間引を行ひ剩餘及び雜草を除く、九月上旬白露の節漸やく近くの頃より成熟し始む大抵下旬即ち秋分時節に至りて刈取る脫豆の方法連枷を以て叩くか或は單純なる機械を用ゆるものとす收穫は地方地方によりて勿論同じからざれ共遼西康平附近にありては一丁地略十石を擧ぐると云ふ又昌圖以內の遼河、蘇河及び渾河等の流域其他通化、懷仁、寬甸地方にありては多きは七八石より四五石位までなり鳳凰城より黃海沿岸地方にありては大に減少して大抵三石を以て平均收穫高と稱し又營平、遼陽地方にありては高粱及び玉蜀黍の間に交へて作るあり是等は少きは七八斗より大きも一斗を出づる事稀なりと云ふ

安東金融事情(一)

(通商課調查)

今や年末に近く商況一變の時將さに遠からざらんとす此際論にたちて其行程を顧みるは蓋し好箇の學問にして爰に最も本課の喜びとなす所なり、即ち左に當市活動の初季たる四月を以て筆を起し本年金融界の趨勢を示さん

明治四十年四月中金融調査(一)

(イ)送金荷爲替其他

種目	仕向口
送金(一般)	三六三、九四五、九三
荷爲替	二六二、九六八、三四
他所割引	一一五、〇〇七、三八
代金取立手形	
當所取立手形	四〇、四八六、五六
計	七八二、四〇八、二一

種目	被仕向口
送金(一般)	一三三、二三、九一
荷爲替	一八二、八五七、九四
他所割引	七七、六三一、〇〇
代金取立手形	六一、七三一、八〇
當所取立手形	
計	四五六、二五九、五三
備考	內公金 三、〇五三、八九

(ロ)送金仕向口

地名	口數	金額
大阪	九三	一二六、九五〇、七九
上海	一二	三八、九三四、〇二
横濱	一二	三〇、八八七、二九
牛莊	一二	二二、八〇〇、〇〇
東京	二二	二一、二一五、二七
芝罘	六	二〇、一五〇、〇〇
釜山	二六	[illegible]、五六八、〇〇
仁川	一七	八、八九二、〇〇
奉天	四	八、二九七、七五
神戶	三	六、一三四、〇〇
京城	八	四、八七四、〇九
其他	一〇四	六五、二四二、七二
計	三一〇	三六三、九四五、九三

被仕向口

地名	口數	金額
牛莊	一	三〇、〇〇〇、〇〇

京城たより

芝堂

◎第一、文明的の法律に依り、文明的の裁判をなすとせば、裁判所を搆成する則ち人物の問題こそ一大事に候、判檢事は母國に之を求めば如何なる人物にても之を得べく候はんも、韓語に通せざるを以て、勢ひ通譯に其人を要す、而かも適當なる通譯を得るの見込わりや否や、裁判は神聖ならざるべからざるに、言語不通の判官を以て通譯の仲介により審理す、幸にして通譯其人を得ば仕合なれども、若し然らずんば、遂に通譯裁判の弊に陷るをなきを保せず候、去りとて熟練の好通譯は一朝にして之を養成する能はず候、是れ困難の一に候

◎第二、司法には補助機關則ち司法警察官の設備完全ならざれば、判檢事の作事を全ふせしむる能はず候、然るに韓國目下の狀態は居留地以外は殆んど無警察と云ふも過言にあらざる有樣にて、現在の巡査及び憲兵の數にては、到底十分の働は出來不申候、また法律志想なく、義務心なく、教育なく訓練なき韓巡査に向つて、司法警察事務を盡せよと命ずるは、危險千萬と言はんよりは、當分不可能の事と被存候

◎第三、判官は言語不通、通譯は信賴するに足らず、補助機關は十分ならずとせば自然書面に偏するは理勢にして、中庸を失するの判決を見るの恐れなしとせず、行政處分は之を變更するを得れども、裁判所の決定は、容易に之を取消すと能はず候へば、ナマナカ判決を與へらるゝに於ては、取返しのつかぬ迷惑と可相成候

◎其他苦情を並ぶる時は數限りなく候得共要するに今日の狀態より計考せば、裁判所は模範的に且つ準備的に某々の數ケ所に設置するは必要なるべきも、多大の費用を投じて各地に急設するは寧ろ早計と可申候、司法制度の整備を期するは、或る別箇の目的よりするも、亦實際の必要より見るも急須の事なれども、財政自ら限あり、施設亦緩急の序あり、遺憾ながら吾人は裁判所設置を第二位に置くの已なきを認むるものに候

小說　紅のみだれ(二十三)

水井櫻園

竹本消之助は、初お目見得の三日目に、田村町の料理亭常盤樓で山田邦男と知己になつてからと云ふもの、其の親切の辭が身に泌み渡つて忘れ難く、況して其の俊秀の眉目は、少なからず渠が情緒を蕩して、高座に現れても山田の顏一つが目的で、數百の客は殆んど渠が眼中には無いのである、確か六日目の晩であつた、山田は保護を受けてる和田垣の家に來賓があつたゝめに、心ばかりは琴平亭に通つて居りながら、來賓の接待役を言付られて往く事が能ない、漸く九時頃來賓が歸ると、遲しと家を飛び出して馳け附けたが、其時は丁度消之助が野崎村を語り了らんとする少し前であつた其晩の消之助の失望と云つたら實に甚しいもので、ために怠ける心はないが自然と語物にまで影響して、自分でも拙かつたと思へば、聽客の方でも今晩は出來が惡かつたと評判するほどであつた、かくまで消之助が戀ひ慕ふに至つたのは、まだ寄席へ出たばかりで、愛顧な客の無い時に、先頭第一に料理亭にまで招んで、有ん限の力を添へてやると言つた、其の親切を嬉しく思つたからに相違ないが、一つは其れ以外に渠の心を樂ませるものがあつたに相違ない、であるからこそ、其の空想を夢にも見れば、又自ら山田の寄食する和田垣家の前をブラ付いて、山田の顏を見んともしたのである其の結果計らずも日比谷公園で邂逅して、積る思を夢物語として打明け、山田もそれと察して、明らさまにこそ言はぬけれど、平常の思を訴へて、遂に兩個が戀は暗々の裡に成就したのである。

其れから後の兩個が間は、只さへ湧き返つた血潮が燃ねて、一日でも顏を見ずには居られないまでの熱度に上つた。

かゝる果敢ない戀を樂むで居る中、早くも十五日となつて、琴平亭の興行は湧くが如き人氣の中に千秋樂を告げ、いよ／＼十六日の夜から淺草吾妻橋の東橋亭に出る事になつた。すると十六日の午前十時頃、明舟町の棟割長家に消之助を訪ふたのは山田であつた。

「御免下さい。」

と、豁然表格子を開けて入れば、內には優しい消之助の聲で

「誰方…。」

云ひつゝ上り端の障子を開けて

「おや、まあ、誰方かと思ひました、能く斯麼馬舍の樣な家へお出で下すつたのね。」

「些と用事があつたもんだから。」

「あ、然うですか、斯麼汚い所ですけど、どうぞまあお上りなさい。只今お化粧をして居ましたので、種々な物を取散して全く厩見たいですよ。」

「なあに上らなくツても此處で話しや澤山だ。」

すると長火鉢か傍に煙草を喫して居つた養父勇五郎が

「誰方か知らんが、早く其處等を片付てお通し申すが可いぢやないか。」

と、注意する。

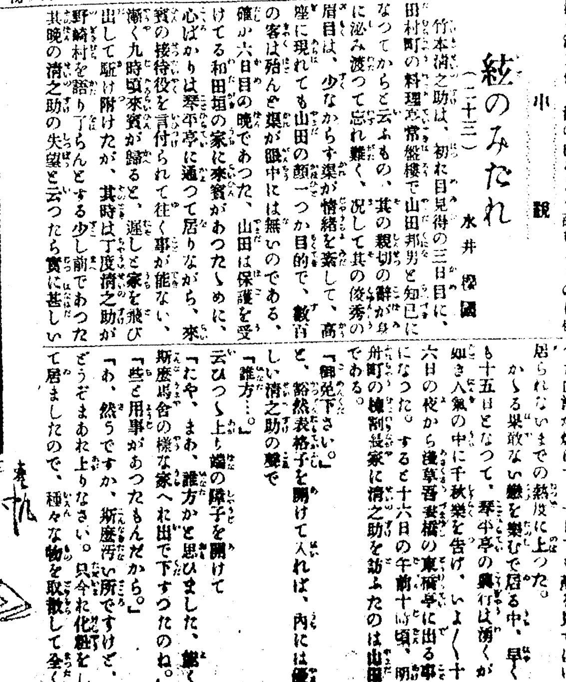
「初中終御愛顧になつてる山田樣ですよ。」

「まあ、然うかい、それぢや早く上つて頂くが可いぢやないか。」

山田と聞いて自ら起つて座敷に散らばつて居る、化粧道具や着物などを手早く片付けて薄ぺらな座蒲團まで出して遣つた。それと見た消之助は

「まあ、左に右些とお上り下さい、幸ひお父樣も是非お目に懸つてお禮が申したいと云つてた所ですし、斯麼所ではお話しも何ですから……。」

「では、些と失敬爲やうかね。」



社說

電氣會社の橫暴

韓國が列强の利權爭奪の渦中に投ぜられし時代にありては諸種の事業が個人の獨占的權利に歸したるもの少なからず、吾人は必ずしも獨占權の取得を目して絶對に社會國家に不利なりとは言はず、然れども事苟も社會公衆の利害に關する事業の經營に當るものは、周到なる要意を以て公衆の利便を計り假にも過ちなからんことを期せざるべからず、京城市も今や日本人の日に月に增加して電力を利用するの範圍甚だしく膨脹しつゝあれば電氣會社に於ても急かに備態を更め社會公衆の爲に其の改善を行ふべきは當然の義務たるべきに、同社は一つも此底の義務を解せず反つて其の獨占權を有するの故を以て徒らに橫暴を恣にするものあるに至りては吾人の遂に默視するに忍びざる處なり

見よ彼の京城を縱貫せる電車はその設備不完全にして二十萬の人口を有せる京城市の交通機關たるの價値を有せず、電燈事業又は動力の供給は不相應の利益を貪りつゝあるに拘らず日に幾回となく絶電を續け使用者をして甚だしき損害を蒙らしむるを常とす、●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●これに對し偶々不足を提言するものあれば彼れは曰く、我社の事業も亦營利を目的とするものなるを以て若し使用するに足らずとせば我社は必ずしも供給を强ゆるものにあらず、用ゆると用ひざるとは使用者の勝手たるべしと、その主張する處何處までも獨占權の陰に隱れて橫暴を極むるものなり、苟くも利害の社會公衆に及ぶべき事業を營むものは單り私囊を肥すを以て唯一の目的とするを許さず、況んや韓美電氣會社は、韓宮內府を株主に有する半官半民の性質を有するものなるに於てをや(コールブラン氏は今に到て何電氣事業に利益なしと稱し宮內府へは一文の利益をも配當せざるとの說あり)昔て統監府は韓美電燈の不完全なるに耐へずして自ら電燈事業を起さんと企てたることすらあり、斯くの如く監督の實權を握れる統監府は既に韓美會社の施設の實用的ならざるを知りながら米人と言へば一も二もなく治外法權的ならしめ漫然何等の取締りを加へざるに至りては官府の威信遂に何邊に存するかを疑はざるを得ず、コールブラン氏今に及んで速に自己の社會に對する責任を覺り、事業の改善を斷行する能はずんば、須く獨占權を放棄して之れを韓國政府に返還すべし、而かも尙其の決心なくんば京城市民は遠からずして、輿論の責任を問ふに至るべきなり在京城米國總領事の如き其職責上よりコールブラン氏の橫暴を看過すべきにあらざるなり

紐育電報

▲米大統領の決心

米國大統領は[illegible]如何なる事情あるも次期の大統領候補者[illegible]旨を確言せり

伯林電報

▲浦鹽貸與說否認

露國官報は露國が浦潮斯德港を[illegible]貸與するの說を否認せり(七日發)

北京電報

▲間島問題談判

林駐淸公使は七日北京政府の求めに依り袁世凱と間島問題に付き談判を開始したるも袁總督は支那在來の淸韓境界に關する書面を提供し自國の領域に屬すべきことを主張し何等決する所なくして引退りしと(九日發)

奉天電報

▲犬養氏の袁督訪問

淸國漫遊中の憲政本黨代議士犬養毅氏は本日我駐淸林公使と伴ひ間島問題に付き袁世凱氏を訪問せり(七日發)

▲吉林のボイコット

吉林にては間島問題に付日本人の行爲に憤慨し日本商品のボイコットを行はんとし檄文を四方に配付せり(七日發)

東京電報

▲報聘大使の着京期

報聘大使李載覺氏の一行は豫定を變更し十一日入京することゝせり

▲日韓人排斥案

米國議會に於て議員の提出に係る日韓人排斥案は有力なる反對ありて通過覺束なしと聞く(以上七日午後發)

各地電報

▲鷄龍山の賊討伐

天安附近鷄龍山の賊討伐戰は八日未明より開始し賊三名を殪し一名を捕へ他に取調中のもの二名あり(九日午前十一時天安發)

▲金國丸の沈沒

本日(八日)午前五時半元山・西湖津間[illegible]に於て瀛船第二早鞆丸と同金國丸と衝突し金國丸沈沒して船客日本人二十七名韓人九名船員三名生死不明なり(八日午後零時四十五分元山發)

▲同上別報

同日午後四時咸興發の別電によれば日本人八名韓人十一名溺死せりとなり

雜報

統監の告辭に就て

(京城日報に答ふ)

伊藤統監の一言一行につき常に詳密なる注意を拂つて其報導に怠らざるところの京城日報は平常の態度にも似ず如何なる故にや去る四日夜の伊藤統監の告別演說丈は之を掲載せずありしが本紙七日の社說を見るに

統監府の內情

(十二月六日大阪朝日新聞轉載)

統監府內部の事情に精通するを以て有名なる大阪朝日新聞は去る六日の紙上に統監府の內情と題する電通を掲げて曰く統監府參與官と次官が和衷を欠きて施政の機宜を過るは掩ふべからざる事實なり官制改革に對する韓國大臣の豫想外に强硬の異議を提出せる間より感情の衝突なれども統監府を侮蔑せる反響たり警察憲兵は扈從を持除して更に軍隊增派申請中なる如き亦統監府職の責を免れず(中略)統監府の實權は石塚鑑査部長の手にあり鶴原長官は立場に窮し居れり統監出發後の統監府は最も注目に値すべきものにて一層[illegible]を來さん憂あり

[illegible]本紙の記事[illegible]殿下が御困りとならば御本人の申込次第本紙は如何樣にも訂正して差上べし

韓東宮 容裕大使 馬關着光景

▲御着前の關門 夜來雨氣に風伯さへ加はりて今朝の空模樣如何にやと氣遣はれたるに風息み雨霽れて日本晴の上日和とはなれり拂曉より此貴賓を奉迎せんと關門兩地の數十艘の小蒸汽船及び內從泊の各船舶は美々敷滿船飾を爲して待設けたり

▲御乘艦現はる 御乘艦滿洲の彥島の尖端を外れて門司港頭に現はるゝや關門兩地より盛に煙花を打揚げ歡迎船は各順序正しく活躍を始めたり滿洲の白木崎セメント會社沖に頗る陸地近く甲板に整列せる海軍々樂隊の進行曲譜を吹奏しつゝ八時二十分白木崎セメント會社沖に投錨せり護衞艦宗谷は滿洲より約二十分を後れ約二百間の間隔を置きて其前方に錨を投せり海波油の如く靜かに數十の海鳥御乘艦を繞りて翔ぶ眞に是れ泰平の象なるかな

▲南縣代表者の伺候 和布刈丸に乘れる寺原福岡縣知事長崎宮中顧問官は先發に福岡縣官民新聞記者等を代表して御乘艦に伺候し次で鴻城丸に乘れる渡邊山口縣知事大味警察部長三戸縣會議長等同縣民を代表して伺候したり

▲禮砲と万歲 陸軍少尉の軍服に長きカーキ色の外套を被り其隙間より勳章を輝かせつゝ伊藤大師に手を取られ艦梯を下り彼我の隨員一同鴻城丸に移乘せられ又答禮大使李載覺李埈鎔趙漢國一行の砂彌丸に移乘せらるゝや宗谷艦よりは二十一發の皇禮砲を放ち次で南艦よりは乘員一同甲板に整列して萬歲を歡呼し其聲天地を震動す

▲御乘艦の進行 韓太子及び答禮大使の御乘艦滿洲丸より吹奏せる韓國々歌に伴れて進行を始むるや門司水上署の汽船明保丸門司側歡迎船の先驅となり又下關水上署の赤針を取る筈なりと

●皇太子の御上陸 [illegible]紅白の幔幕を廻らし御通路には白布を敷き大味山口縣警察部長御先導申上げ伊藤大師皇太子の御手を取りて上陸下關重砲兵聯隊佐藤五聯隊長の指揮して整列せる砲兵一個聯隊及び佐田少佐の指揮せる儀仗兵二小隊の整列せる中を過ぎりて御旅館春帆樓に入らせられ第一番に各陸軍將校の拜謁式あり其れよりシャンピンを擧げて殿下の御安着を祝し奉り次で立食の宴を開き隨員伊藤大師宮內府大臣李允用農商工部大臣宋秉畯陪從武官長趙東潤宮內府特進官嚴柱益侍講院廣、高義敬陪從武官金應善修學院教官嚴柱一宮內府秘書官尹世鏞御教官二名其他の隨員山根下の關要塞司令官渡邊山口縣知事十二師團長代理香川第三十五旅團長石井下關重砲兵旅團長大澤滿洲艦長財部宗谷艦長大味山口縣警察部長笹尾十二師團副官田村要塞司令部副官日上下關市長等接伴委員岩倉公爵田中海軍少佐渡邊騎兵少佐と是に列し相互に萬歲の交換あり一方山陽樓橋に下關警察署の警部先導答禮正便李載覺副便李埈鎔趙漢國接伴委員長崎式部長以下隨員旅館山陽ホテルに入るや前記諸氏及び宗篤司李達鎔秘書官李恒九學部事務官上村正己武內下關市助役等シャンピンを擧げ立食の宴を開きたり韓皇太子は航海途中風波荒かりしも始終活潑なる御動作にて伊藤大師其他の隨員に四方山の御物語に耽けさせられ小蒸汽鴻城丸に移らせらるゝや物珍らしげに關門兩地を指さし伊藤大師に何事か問はせられ大師一々御說明申上げ又春帆樓前の舊養治小學校跡には今朝下關物品問屋の寄贈に聯隊の兵士十名是に加はり花相撲ありて其土俵入等を御覽あり何物なるやと伊藤大師に問はせられたれば伊藤大師は相撲とは斯るものにて候と御手を取りて御示し申し太子は頗る悅に入らせ給ふを見たり

●滿洲宗谷兩艦員授勳 去る七日馬關に御着あらせられたる韓國皇太子には御着の際滿洲宗谷兩艦乘組員へ對し勳章を授與あらせられたりといふ

●義親王の伺候 既報の如く義親王は一昨夜御歸京昨日零時半德壽宮に伺候せられ太皇帝に謁見あらせられたり

●獨逸總領事 獨逸總領事クーユーゲル氏は昨日午前十一時統監府に曾禰副統監を訪問せり

●民團の豫算會議 京城居留民役所にては昨日午後より各課長以上を會し四十一年度豫算會を開きたり聞く所に依れば四十一年度に於ける豫算の方針は經常部に於ては可及的緊縮を圖り臨時部に於ては學校道路を始め繰合せの出來得る限り積極的方針を取る筈なりと

[illegible]本月九日官報[illegible]移屬すべきもの左の如し

一、[illegible]稅及專賣官吏の件

二、鴨綠江の沿江稅、竹田稅、松田稅、柿登稅、窯山稅、栗木稅、干田稅、山麓稅、蘆稅、草稅、燒木稅、炭木稅、梓藁稅、水磯士稅其他に關する雜稅

今後農商工部に移屬するものは左の如し

庖稅、銅鑛稅、鐵鑛稅、鍮店稅、水鐵稅

經理院所管中鹽稅、水產稅、船稅、浦稅、低稅等は今後之を廢止する旨布告せられたるが右の內鹽稅、水產稅は政府本年度より執行せし當該稅目と同一なるより或は之を癈止せられたるが如き觀あるも右癈止せられたるは全く經理院所管の鹽稅、水產稅にして實は經理院に於て政府と同性質の徵稅を執行せしが本年六月の交成鏡南道運浦一帶に於て民擾を惹起したることあり今回經理院に於て右二稅の徵收を廢止したるにより今後は政府に屬する稅あるのみにて當業者の負擔大に輕減せらるゝを得べく船稅亦同一にして今後は經理院が徵收することを廢止し同時に國內船稅規則の適用を受くべきものとなしたるに過ぎず要するに宮內府の雜稅を整理するは國家歲計の運用に一段の圓滑を與ふるものなりと謂ふべし

東亞開進教育會の主旨發表

東亞開進教育會は左の如き三ケ條の主旨書を印刷して各地會員及負褓商へ配布せる由

一、本會は四民が成開して國步開進を共濟し以て永遠の目的を定むるにあり

一、會中にて學校を擴張し四民の教育を勵行し文明の制度を採用するを以て宗旨と定む

一、本會は本邦在留日本人民に對して親睦相助し友誼を維持するを以て主義と定む但し淸韓も此の範圍に同任するものなり

●韓人の本性 先日伊藤公より金壹萬圓の寄附を受けたる大東學會は壹萬圓に對する何かの積にてか早速親日的檄文を頒布せり彼等の利口なるには毎々感心の外なし左るにても伊藤公には此の檄文を見られて齒を浮されざるべきや

所謂濟世の志士

忠淸北道黃澗郡上村面、梅下面等の各村落に出沒せる暴徒各面長に左の書面を與へ物資掠奪を擅にし郡民皆に安んずる能はず形勢やゝ不穩なり彼等が所謂濟世の檄なるもの左の如し

黃澗水茂上下洞、冠蓋豚大桑林橋洞、各洞里長及び上下小任大小人民に告ぐ今や國家泰安ならず人民塗炭に陷らんとす是を以て各義を重んずるの士濟世の安民の志を以て各所に蜂起したり是等軍人を養ふべき軍資軍糧は當に各地富民の負擔たらざるべからず嚮きに數月間知禮山に留陣し今又茂朱德有山に陣を移し以て冬期を過さんとす然るに期既に極寒に入り陣中の軍士困難尠なからざるを以て今其の衣服軍資等を募集せんとす然るに若し軍兵を率ひて各洞を巡廻せば

[illegible]

水茂上下、廣木五疋、冠蓋廣木四疋、豚犬桑林草鞋白竹、橋洞白木二十疋、

丁未十月廿二日

晉牧山陣

倡義都大將 金明洙

中軍將 湖求玉

後軍將 姜濂朱

北靑の鎭定

去る五日北靑出張中の松下警部よりの電報によれば一時騷亂を極めたる同地方も今や秩序殆ど平常に復し暴徒四散再び集團の擾攘なく郡守は村民に向て說諭する處あり民心概ね安堵し軍隊も必要の人員を殘し不日引揚げの豫定なるを以て松下警部一行も遠からず引き揚ぐべし德永巡査の死体は未だ發見せずと

谷城郡の衝突

全羅南北光州宮川警視電報によれば幾に同地方面に出したる偵察隊は五日午後八時谷城郡松崎と稱する部落に於て賊約四十餘と衝突し一名を殪し一名を擒にし銃器二十其他彈藥等若干を押收す賊は逃走の際放火し約二十五戸の民家を燒燬せり敵負傷十餘を出せり

磨石偶の衝突

步兵第五十一聯隊第九中隊上等兵以下十五名は去六日午前六時頃春川、磨石偶に於て暴徒約百五十餘と遭遇し約一時間餘の銃火を交へ敵をして多大の損傷を蒙らしめたり

●救護部會の講話 看護實習の爲め設けられたる愛國婦人會救護部會は從來第二第四の火曜日に例會を開催し來りたるが本日は之が例會の日に當るを以て午後二時より倭城俱樂部に於て開會する筈なるが席上能勢博士村上醫學士の講話ある由なり

●長谷川大將の私宴 今十日大觀亭に於て日韓各高等官を招きて私宴を催す由

●白耳義領事館晩餐會 白耳義領事館にては來る十五日統監府勅奏任官を招待し晩餐會を催す由

●佛國領事館晩餐會 佛國領事館にては來る十二日晩餐會を催す由

●スチーブン氏送別會 統監府囑託スチーブン氏は今般職を辭し本日午前八時五十分南大門發にて歸國するに就き一昨八日花月樓に於て送別會を催し來會者數十名ありて盛會なりし

●スチーブン氏の篤志 統監府囑託スチーブン氏は今回愛國婦人會韓國本部の事業を贊成し金若干を寄贈せるが同會よりは直ちに氏に向つて有功章を贈呈せりといふ

●軍需品揚陸 本日仁川港へ入港すべき半御用船馬山丸にて陸軍々人の便乘者三十二名及び陣營具被服等千三百七十四個を同地運輸部に揚陸する筈なりと

●[illegible]本町警察署[illegible]

●富田民長[illegible] 富田[illegible]京城商業會議所新築落成式に臨席の爲め[illegible]の件につき本日上京の筈

諸官廳の入札購買に就て

會計規則の適用が常に杓子定規に流れていつも好結果を生ぜず物品購入杯に關ては却て割高の物品を掴ませらるゝこと今日の常習なれども云ふべき弊風なるが就中諸官廳の購買入札と來たら殆んど沙汰の限りともいふべきもの多し喩へば今爰に一の購買入札あらんか小商人等は直に之を比較的資本に信用多き商人に對し自分等は局面より手を退くを以て宜しく應分の步合を出されたし抔交涉を開始し該商人の此の內議に應ぜぬ時は直に去りて下級官吏と結托し該商人に對し對抗の態度を執り成べく該商人に落札せぬ樣に運動怠りなきを以て該商人の立場としては此の不當なる交涉に應じて實價以上に入札するか又は品質を粗惡にするかの二途を以て之れを塡補するの方法を採り其の結果官廳は購買價格の不廉となり又は粗惡の物品を購入するとの不利益を來し而して思はぬ儲に舌打するは下級官吏の一部と小商人のみなりとは豈驚くべきの事ならずや又他の一例は購買入札の豫定價格頗る高額にて小商人等の力に及び難き時は彼等は百方下級官吏に運動し一括されたる購買品を更に數小分し而して前記の結托入札法にて他の商人に對抗して交涉する等實に忌まわしき弊習のみにて此の際何等かの掃淸策こそ願はしき次第なり

●市區改正の協議 昨日仁川總稅務司支署にて仁川市區改正の件につき民長其他の協議會ありたり

●仁川蒸氣ポンプ購入 仁川に於ては今春以來火災の厄に罹る頻々たるにより今回東京より蒸氣ポンプ一臺(價格三千圓)を購入すべく來年度豫算に編入し次期議會に提議すべしと

●無屆營業居留發見の功果 京城居留民團役所にては從來無屆營業及び無屆居留者多數あるを以てこれが調査を行ひ來りしが其結果民團稅徵收上著しく影響を來し二萬圓以上の增收を見るに至れりと

鴨綠江の解氷

十二月七日安東縣領事館電によれば數日來の退潮にて鴨綠江は解氷し當地と新義州間一日一回强行渡船をなしつゝあり今後四五日間は危險なく渡航出來得る見込なりと

●商業會議所落成式 京城商業會議所會舘は秋吉會頭戶叶書記長等監督の下に工事を進めつゝありしが今回漸く竣工したるを以て本日午後一時新築落成式を擧行する由なり

●任免辭令 去る七日附を以て左の通り任免ありたり

任中樞院贊議敍勅任官二等 免本官

平安北道觀察使 朴勝鳳

度支部稅務官

依願免本官

內閣法制局長

任東宮侍從敍奏任官四等

●宮廷伺候者

「無限の熱血」を讀む 十一

錦陵生

非常なる勉勵と熱烈なる精苦とは君を驅つて益々寮運の發展を見るに至らしめ十年苦心の經營漸く酬ゐられんとす、君の得意や蓋し察するに餘りあり

時は折りしも明治三十二年十月中旬、天高く馬肥ゆるの交我が皇太子殿下には地方狀況御視察の爲め、西國に行啓あらせらるゝや、縣民擧つて此の千載一遇の盛儀を歡呼し、男女老若各々拜觀の光榮を得たりしが、其の際畏くも殿下には貧兒寮の事ぞも縣の知事を延きて親しく御下問あらせられ且つ特別の御思召を以て金百圓を御下賜相成りたりしかば、君は其御仁慈の厚きと聖恩の廣大なるとに感泣し蹇々自愛して之が限りなき高恩に酬ひんとの心切なりき、今左に之が日課及び內部の組織を揭げんに

△日課 一、起床(午前六時)一、點檢(午前六時五分)一、掃除(自午前六時五分至午前六時三十分)一、勅語拜禮式(自午前六時三十分至午前七時)一、朝食(午前七時)一、學科及手工科(自午前八時至午後二時)一、晝食(正午)一、掃除(午後四時)一、勅語拜禮式(午後四時三十分)一、夕食(午後五時より)一、學科(自午後六時至午後九時)一、就寢(午後十時)

但學科時間は尋常小學部、夜間は高等小學部及特別生

▲勅語拜禮式 貧兒寮兒童教育の本領に曰く「我が寮は天下の無告貧孤兒を收容し其の父兄に代りて家族的に教養し、勅語の大御旨を奉躰し以て實踐躬行を勉む」と而して教育勅語は實に貧兒寮の旨趣骨髓にして必ず朝夕兩回には、勅語の前に兒童を整列せしめ「君が代」を奏し以て兒童等をして倫理修身の大義を悟らしめたり

▲學業 學年は尋常小學部、高等小學部の二種に分ち、尋常部は晝間に於て教授し高等科は夜間に於て教授す、而して學科は尋常科にありては、修身、國語、算術、唱歌、躰操の五科目にして、高等科にありては、修身、國語、算術、理科、地理、歷史、唱歌、体操の八科なるが、教授時間は晝間の部は四時間、夜間の部は三時間なりとす

▲兒童の職業 兒童の職業は手工部、給仕部、殘飯部、行商部の四組に分ち、高等小學校一年以上の者は學科を夜間とし、晝間は皆各部の職業に就かしむ、而して尋常科は學科のみにして別に職業を與へず、放課後は各自隨意の遊戲に從はしむ

▲手工科 手工科とは寮內にありて竹箒、棕櫚、衣紋竿、手拭掛、帽子掛、鐵火、鏝、網戲育燈等を製造するものにして高等科一年生の男子之に從事す

▲殘飯部 殘飯部とは本寮唯一の食料たる師團の殘飯を朝晝夕の三度拂下受取の爲め荷車を挽き兵營に赴くものにして是には稍々力を要するを以て高等科四年生及卒業生にして未だ他に出身せず寮內にあるものをして之に當らしむ

●不埒なる南山占領

日露戰役以來韓國熱に煽り邦人の渡來するもの日一日に增加し之れが爲め居留地は狹隘となり城の內外に溢るゝに至れり此時に當り狡奴は韓人と結托して南山麓の土地を買收し官有地たる南山に侵入するに至れり即ち巍然たる高樓大廈の聳ふるは多くは此輩なりといふも過言にあらざるなり然るに南山の翠松は居留民の生命として長く其風致を害せざらんとし日本公園地に編入し其標石を樹立して一毫も犯すべからざることゝせしに統監府囑托と稱する黑田某は老人聖壇の綠地數萬坪を占領し黑田山莊と麗々しく標札を揭げ鐵條網を張りて濫りに入るべからずと高札を樹立したるのみならず傲然として伊藤統監等を招き園遊會を催して得々たることあり此際居留民中志あるものは實に苦々しきことゝもなりと何れも憤慨せざるものはなかりしも其肩書に恐れてか一言之に向ひ非を鳴らすものなく殆んど之を默認し來れるものゝ如く誰れ一人として之を尤むるものなかりしは甚だ訝怪の次第なりと密かに怪む所なりしに此頃に至り又々小島某旭町二丁目第一銀行社宅なる石林亭辭なる日本公園區域內に溪川を踰へて千餘坪の地を占領し鐵條網を張り廻したり之れが爲め道路を遮斷したるのみならず或る韓人の如きは鐵條網を避けんとして負傷したりと云ふ同地は最も景勝の地にて四時日韓人の登山する所にて純然たる官有地なり彼れ小島某が私有すべきものにあらざる其形狀より見ても明かなるべし且つ三島氏居宅西隣の空地の如きも銀行所有地に屬し居りしことは今を距る十餘年前より明かなるにも拘らず空地なるを幸ひとし一私有として標木を打ちたるものあり此等は甚だ不都合の所業なれば其筋に於ても宜しく注意の上取締られたきものなりと云ふものあり

●市原氏邸の幻燈會 熊本貧兒寮員は一昨日午後七時より第一銀行總支配人市原盛宏氏邸に於て幻燈會を催し行員津崎、後藤、隈部氏等熱心に盡力し行員一同參觀し即座に三十圓の寄附ありたりと

●山口勗氏の訃 先年朝野新聞の盛時に於て同紙に執筆し文名を東都に馳せたる山口勗氏は昨年來韓國農商工部に奉職しつゝありしが俄然腦溢血病に罹り一昨八日死去せられたり因に葬儀は本日午前十時倭城臺本願寺に於て執行せらるゝ由なり

●虎列剌發生 鐵道管理局保稅貨物取扱仙波方通信技手岡岩英雄(三十)は一昨日吐瀉病を發生したれば直ちに醫師の診斷を乞ひしに昨日午前二時診察の結果虎列剌と診定され直ちに避病院に收容されたり同人は去月二十七日大阪を發し千賀丸にて仁川に下し兩三日前入京したるものなるが多分大阪にて傳染したるものならんといふ

四代勤續の番頭 綠綬褒章を授かる

一代の主人に事へて忠勤を抽んづるさへ稀なる世に四代の主人に歷仕し忠義を盡したる感ずべき番頭の現れたりその番頭とは廣島縣下賀茂郡竹原町の酒造業竹田助右衛門方に勤むる吉井重兵衛(六十)といへるものにて初代の主人助右衛門は町庄屋を勤め營業上の事は總て重兵衛が引受け悍々しく立働きゐたるに主人はフト疾病づきて床に就くことゝなり日增に重る容躰に家族は素より重兵衛の心痛一方ならず側に附切て看病に手を盡せしも早や限られたる命數にや遂に起ざりしゆゑ後を嗣たる養子に仕へいよ〳〵業務に勵精し今日の主人に至るまで代をかゆること四度、年を經しこと五十餘年、その間唯一日の如く事へ重兵衛あるがために家業榮え、重兵衛ありしがために資產增殖し、忠勤は以て他の模範とするに足り、德行は以て人の賞讃に値し、廣島縣廳にても斯る者を打捨おくべきにあらずと過日內務省に上申し今回賞勳局より綠綬褒章を授けらるゝ事となり來る十五日縣廳に於て授與式ある筈なりとは現時に珍らしき番頭といふべし

無情強慾(一)

世に無情の者ありといへども現在肉身の姪を一生涯己が喰物にせんとするは其の極とやいふべき世に强慾の者ありといへども先方が一步讓れば一步を進めて理由もなきことに金錢を貪り尙ほ進んで警察署の威力を借りてまで暴慾を遂げんとするは其の類稀なるべく特にこれが尙ほうら若き婦人といふに至つては誰か舌を捲きて一驚三嘆せざるものあらんや茲に大分縣北海邊郡神馬木村の生れにて中元クモといひ名さへうたてき女あり何時の頃よりか此の京城に流れ込み漂藏といふのかいゝ男が多少の蓄財あるに眼をつけてこれを甘々と掌の中に丸め込み南大門外米倉町に家を構へ表面を亭主大明神と祀りてその所有の金にて典當局を始め實はこれを下僕同樣に追遣ひあらん限りの惡手段を講じて高利を貸し質物を奪ひ不義の榮華を爲しつゝあるが尙ほこれに飽き足らず現在血を分けし一人の姪をも喰物にせんと企みける綠の仔細を尋ねて見るとクモの姪に同姓ミヨ(二十)といへるあり瓜の蔓に茄子はならず伯母なるクモが此の韓國へ渡るや我も劣らじと滿洲へ漕ぎ行きて露助や豚尾漢を下足玉にどり浮世三分五厘で娼業に從事し居けるが能く游ぐ者は溺るゝの譬で娼妓の果は三分と半分を言ひ分ち得ぬ梅病に罹るは內外を通じての定則にてしかもミヨは背うづきて雜病に陷り昨日までは若い男に袖ひかれ遊ばせば嬌姿を見返へされし婀娜姿も肉枯れて髮も拔け垢染みたる衣服を纏ふまでに窶れ果てゝは唾する人はあれども緩き言葉さへ掛くる者もなく進退こゝに谷まりたり(まだある)

●郵便局長の泥棒 一昨九日の夜本町九丁目の清水湯の番臺に置きし手提金庫を一人の男が引つ提げ去らんとするを同湯の雇人が認め引つ捕へて詰問すると初めは自分は統監府屬と吐せしが實は東京市下谷區竹町の者にて先きに順川郵便局長をも勤めたることあり今は當地本町七丁目に寄寓する大里榮(二十)といへる者にて此の夜頃馴染の同湯附近の某料理店の仲居を訪ひし序に湯に往きしといふより尋ね來り折節番臺に人なきを見て惡心を生じ竊取したりと白狀に及びし由なるが去りとは不心得の男といふべし

●無免許口入の咎 神奈川縣士族目下當地旭町一丁目居住紹介業細井勝次は長谷川町一丁目桐原みつに對し無免許にて佐賀縣平民仲居川崎ひでを紹介したるより金一圓の科料に處せられたり

●ボヤ 南山町に居住する宮城縣平民士木請負業吉城晋四郎の同居人上野さらが昨日午前七時頃炊事場にて火を焚きつけ置き他所に用事を爲し居たる不在中其の周圍に積み置きたる鉋屑に飛び火して既に大事に至らんとせしも早くも家人の認むる所となりて即時に消し止めたりと劍呑々々

●北村劇の好評 國劇を標榜する北村生駒一座は仁川に於て非常の好人氣を博し居るも年末に差迫りたる時とて觀客思ふ樣に多からず同一座の爲めに氣の毒なるが尙一月も引續き仁川にて興行する筈なりと云ふ

開業廣告

肅啓寒氣漸ク相加ハリ候處各位益々御隆昌之段大慶此事ニ奉存候陳者弊社儀今般當地ニ支店ヲ設置シ本月五日ヨリ開業仕候間何卒相當ノ御用命御仰付被下度御懇願申上候營業科目其他ハ左ニ掲記ノ通リニ有之充分各方面トノ連絡ヲ圖リ專ラ確實迅速ト御便宜トヲ旨トシ着々經營ヲ進メ度微意ニ御座候得者幸ニ右御高含ノ上長久不斷ノ御眷顧ト御指導ヲ賜ハランヿ渴望ノ至ニ不堪候　敬具

追テ營業其他ニ關スル詳細ハ當支店ヘ御下問被成下度候

韓國倉庫株式會社

本店　韓國釜山佐藤町二十二番地

仁川支店　韓國仁川港本町三丁目七十番地　電話番號八十四番

支配人　原信太郎　事務所内住居

相談役　男爵　澁澤榮一
相談役　大倉喜八郎
專務取締役　佐々木清麿
取締役　室田義文
取締役　大橋新太郎
取締役　賀田金三郎
取締役　中山希賢
監査役　早川鐵治
監査役　尾高次郎
監査役　迫間房太郎
監査役　大池忠助

營業科目

一　倉庫業
二　運送業
三　以上の目的を達するに有益又は便利なる業務

資本金　貳百萬圓
本社　釜山
支店　仁川、京城、大邱、平壤、木浦、群山、鎮南浦、元山
出張所　東京

豫約出版廣告

東宮殿下御渡韓紀念

京城居留地及名所舊蹟　寫眞版(コロタイプ)帖(横一尺三寸 竪九寸五分)

右は皇太子殿下御來韓に際し京城居留民團より献納の榮を得たる者にて今回爲紀念出版することと爲せり豫約希望の向は部數に限り至急御申込相成度し

一部　定價金三圓　豫約金二圓五十錢

一　豫約申込期日　本年十二月十五日限り
一　出版送本期日　本年十二月二十五日

本帖は原版に依る寫眞版(コロタイプ)にして出版者及寫眞師は民團の依囑に應じ圖案及寫眞に意匠を凝せし者なれば其の體裁は毫も献納品と異なる者なく表紙も亦原圖に依り金入數度摺の緻密精巧なる石版に附したる者なり

明治四十年十一月

出版者　京城南山町二丁目　杉原忠吉
寫眞師　岩田鼎

豫約申込所　野村孝造　京城本町五丁目　日の出屋

業務擴張廣告

謹啓各位愈々御清穆奉敬賀候降テ弊店儀開業日尚ホ淺キニ不拘諸彥ノ御引立ニ依リ日増隆盛ノ域ニ相進ミ候段難有奉鳴謝候就テハ今回東京ヨリ斯業ニ精通セル職工數名ヲ雇ヒ入レ洋服一式廉價ヲ旨トシ御注文ニ應シ可申候間多少ニ不拘御用命被仰付度奉願上候也

鳶　東コート
毛布類　脊廣服
毛織物　各仕立物
文官服　警官服
刀劍類　付屬品

東京塚原支店　商原雄吉　京城明治町一丁目

諸官衙御用品調達

營業科目：紙類書籍　印刷附屬品　印刷インキ　防腐デシン　穀物食鹽　織物染料

各學校用品調達

幷に委託販賣

東京　合資會社アライアンス商會代理店
横濱　百六十七番　ビューム・エンド・ライフ商會代理店
東京　千代田生命保險相互會社代理店
東京　博文館發行書籍特約店
東京　金港堂發行書籍特約店
釜山　臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社

本社　京城明治町二丁目　電話二三〇番
支店　仁川港濱町一丁目　電話二五五番
出張所　東京京橋區南鍋町一丁目　電話新橋三九六二番

内外書籍新聞雜誌

和洋雜貨日用品

文房具學校用品

大阪朝日新聞　一ヶ月四十五錢
同　毎日新聞　一ヶ月四十五錢

平田商店　京城本町三丁目　(電話百十五番)

西洋御料理宴會

日本人倶樂部

京城南山町三丁目(電話一二三番)

丁稚入用　但十才以上十五才迄

京城本町一丁目(郵便局前)　若林支店　(電話一四七番)

會席御料理　並に仕出し大勉强仕候

京城本町座隣　蝶々　電話六三〇番

日韓病院

一般患者之依頼に應す

京城新王城大漢門前

院長　橋本三男
醫員　吉田定見
同　韓國軍醫　蔡永錫
劑師藥　濱口源太郎
會計　井口平治
隔日出張　龍山青木病院長　青木清六
入院隨意

廣告

往診　午前
宅診　午後

但し急患者は隨時往診　入院隨意

京城貞洞大漢門前　蘇生病院

開店廣告

神佛葬具請負　並ニ佛具販賣

御一報次第直ちに參上仕諸事御引請御調達可申候

京城旭町三丁目(十全病院隣)　左文字屋

金物部〈・〉　金釘洋鐵鋼類　土工用器具　洋物類一式　諸種油類

京城本町五丁目

和洋金物商　藤本藤次郎本店

トタン平波板　廿八番廿六番廿四番各種

卸部〈・〉　精糖　メリケン粉　和洋紙類　金庫及度量衡

長電四五番

一各種石炭大販賣

大ノ浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
三池粉炭

ストーブ用トシテ右三種取寄セ貯炭罷在リ御希望ニ從ヒ多少ニ拘ハラズ迅速御屆ケ可申上候

鍛冶用トシテ貯炭罷在リ多少ニ係ハラズ御用ニ應シ可申候

當社一手販賣炭左之通リ

三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚
本洞、大ノ浦五尺、大ノ浦三尺、笹原、滿ノ浦
芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物產合名會社

京城出張所　(電話二十六番)
仁川出張所　(電話六十三番)

熊平製造金庫

東京　竹内製金庫

大阪二重瓶並ニ回轉式　消火器

韓國販賣部　熊平商店　京城本町一丁目　電話六二四番

直輸入荷着

新荷着

セメント特約販賣

廉價大販賣

建築及土工用具並小金物類一式取揃申候間御用命被仰付度候

浪板

秋田商會鐵物部　仁川港本町通り　電話一一六番

南山町一丁目(植村病院前)

貸席　待合　ま乃花

客室は清潔にして叮嚀なるは本店の特色に御座候

廣告

牛肉　かしわ　すき燒

永樂町二丁目赤門横手　福壽

初五郎　福田千雄

大阪商船株式會社仁川出帆廣告

仁川支店　電話一二二番
仁川稅關波止場出張所　電話二二〇番
切符發賣所　京城本町通リ角發賣所　電話六五〇番
荷客扱店　慶田組　電話四二二番

●關門、神戸、大阪行　基隆丸　十二月十三日前十時出
●大連、門司、横濱行　勝山丸　十二月　日正午出
●關門、宇品、神戸、大阪行　馬山丸　十二月　日前十時出　咸鏡丸　十二月　日前十時出
●群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行　群山丸　十二月　日後五時出　馬山丸　十二月十一日後五時出
●群山、木浦、馬山、釜山、關門、神戸、大阪行　千賀丸　十二月　日後五時出　筑後川丸　十二月　日後五時出
●鎮南浦行　咸鏡丸　十二月　日後一時出
●木浦、釜山、馬關、鄕之浦、長崎行　信濃川丸　十月　日前十時
●長崎行　木曾川丸　十二月十一日前十時出
●鎮南浦、大連行　信濃川丸　十二月　日後二時出　木曾川丸　十二月　日後四時出

日本郵船株式會社仁川出帆廣告

電話十番

貨物及船客取扱店　仁川海岸通　郡回漕店　電話三九番

京城南大門通　巴商會　電話三〇六番

●釜山、長崎、門司、神戸行　山東丸　十二月二十六日後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戸、大阪行　浦汐丸　十二月十四日後三時出　第一オハヨ號　十二月廿三日後三時出
●大連、大沽行　酒田丸　十二月卅一日後一時出
●大連行　營口丸　十二月十五日後一時出　高砂丸　十二月三十一日後一時出
●大連、秦皇島行　山東丸　十二月十七日未明出
●鎮南浦、安東縣行　第一オハヨ號　十二月二十日後三時出　浦汐丸　十二月十一日後一時出
●釜山出帆、元山、城津、浦鹽行　弘濟丸　十二月十一日

御注意　御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄汽艇ニテ御送迎可申候送迎賃ハ一本船出帆ノ約五十分前ニ御乘船ノ事